SEKISUI ステンレスベランダ用ものほし台 スタンドポール® DSL-20 取扱説明書

このたびは、セキスイステンレスベランダ用ものほし台をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用に際しましては ⚠注意 事項をお守りいただいて、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。この「取扱説明書」は、大切に保管してください。

Lot No.

部品表

＊部品の名称と数量をまずご確認ください。

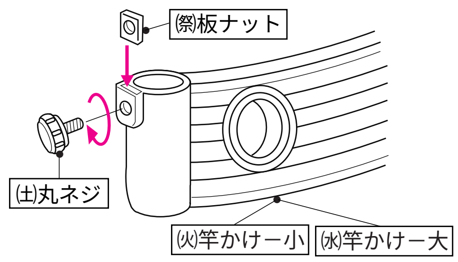
部品名	数量	部品名	数量
(日)支柱ー上	2	(木)圧着板	4
(月)支柱ー下	2	(金)蝶ネジ	2
(火)竿かけー小	2	(土)丸ネジ / (祭)板ナット	4セット
(水)竿かけー大	2		

組立てかた

⚠注意
- パイプの端面などで手や足などをケガしないように注意して組立ててください。(端面に手などを触れないでください。)
- 蝶ネジの先端はキリ状になっていますので、先端で指などをケガされないよう、十分にご注意ください。
- 組立てる際には、手袋を着用してください。

※板ナットを丸ネジからはずしておきます。

1 (火)竿かけー小、(水)竿かけー大 の溝に (祭)板ナット を挿入し (土)丸ネジ を軽くネジ止めしてください。(4箇所)

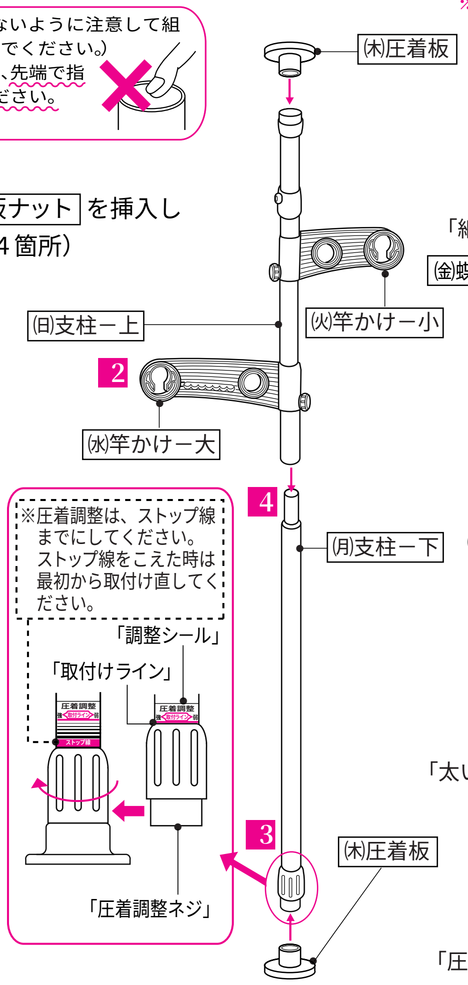


2 **1** で「丸ネジ」をセットした (火)竿かけー小 (水)竿かけー大 を (日)支柱ー上 に図のように挿入し、(土)丸ネジ で軽くネジ止めします。

3 (月)支柱ー下 の「圧着調整ネジ」をまわし「圧着調整ネジ」の端を「調整シール」の「取付ライン」にあわせます。

4 (日)支柱ー上 に (月)支柱ー下 を奥までしっかりと差込みます。

5 (木)圧着板 を (日)支柱ー上、(月)支柱ー下 にパチッと奥まで確実に差込みます。



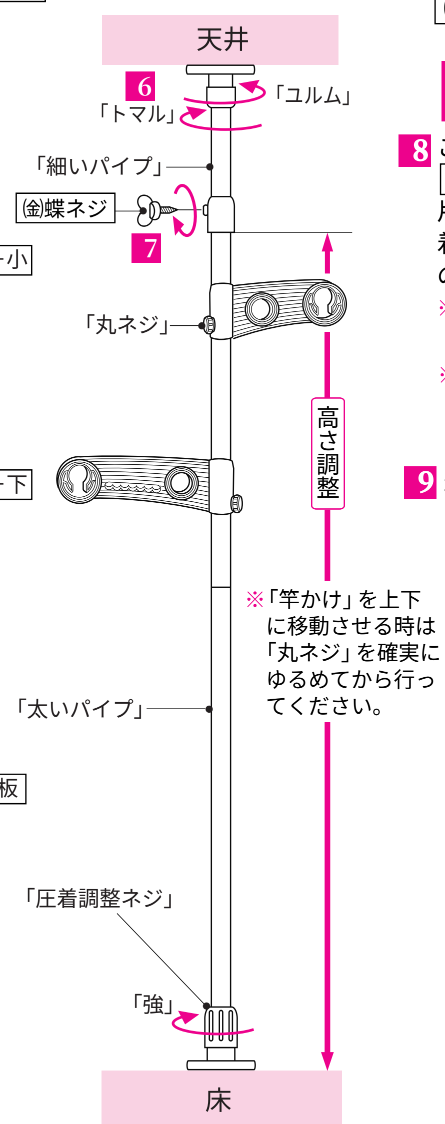
⚠注意

- 使用前に必ず完成図通りに組立てられているか確認し、各部を点検してからご使用ください。ご使用前・ご使用中に異状に気づいた場合は、ご使用にならないで下記「お客さま相談室」までお問い合せください。
- 本製品は、洗濯物用ものほし台ですので他の用途にはご使用にならないでください。
- 製品にぶらさがったり、引っ張ったり、乗ったりしないでください。落下や転倒によりケガをしたり、物を破損する恐れがあります。(特にお子さまにご注意ください。)
- ストーブなど火気のそばでは使用しないでください。
- 取付け 2～3日後に、しっかりと取付けられているか確認し、弱い時は、圧着調整ネジを「強」の方向に回して取付け強度をアップしてください。また、定期的にポールを引張って、取付け強度を確認してください。
- 作業中にポールを無理に引張ったり、強烈に当たったりしますとポールが取付け面からズレ、倒れる場合も予想され大変危険ですので、ご注意ください。(特にマンションのベランダ等では) また、定期的にポールが真直ぐに取り付いているか確認し、斜めになっている時は、付け直してください。
- 長期の使用により、ひび割れ等の劣化が生じた場合は、強度が不足して危険ですので、ご使用にならないでください。
- 台風の日など風の強い時には使用せず、竿はとりはずし、床などに置いてください。(特に中高層住宅のベランダなど) 又、風の強い時は竿かけからはずれないように注意してください。
- 竿のかわりにものほしロープを使用しますと倒れる場合がありますので使用しないでください。
- 竿や洗濯物の落下にご注意ください。
- かけられる重さは、全体で 20 kgです。(竿1本あたり 10 kg) 全体にバランス良くほしてください。
- かけられる重さは、取付け高さ、取付け幅、壁面の状態、取付け方によって低くなる場合がありますのでご注意ください。

⚠取付け前のご注意
- ポールは、天井と床にバネで圧着取付けしますので、取付ける天井面は、コンクリートや梁(はり)(横桟(よこさん))などしっかりした場所をお選びください。
- ボードなど軟らかい材質面の場合には、天井が破損する恐れがありますので、必ず桟のある位置に取付けてください。
- 和室の天井は、破損したり、変形して止まらないことがありますので取付けないでください。
- ベランダの場合、取付け位置は、万一竿などが落下すると危険ですので、必ず手すりの内側に十分に余裕をもたせて取付けてください。
- 傾斜した天井・床には取付けないでください。
- 天井と床の間が、取付範囲の200～275cmであることを確認してください。

取付け方法

6 (日)支柱ー上 の「細いパイプ」を「ユルム」の方向にまわしてから、天井までいっぱいにのばし、次に「トマル」の方向にまわして、しっかりと固定します。
※支柱が倒れない程度に仮固定されているか確認してください。

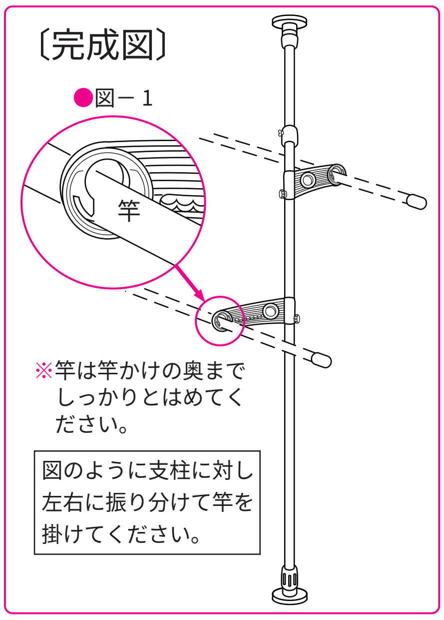


7 「支柱」にねじれ・傾きがないことを確認し、(金)蝶ネジ で (日)支柱ー上 の「細いパイプ」を確実に固定します。
※ネジ止めは少しかたい目の設計ですので、強くまわし、確実にネジ止めしてください。

8 このままでは取付け強度が不十分ですので (月)支柱ー下 の「パイプ」が回転しない様に片手で「太いパイプ」を持って、片手で「圧着調整ネジ」を「強」の方向にまわし、バネの力で天井と床にしっかりと固定します。
※取付け強度が弱いと倒れる場合がありますので十分にご確認ください。
※圧着調整は、調整シールのストップ線までにしてください。ストップ線をこえた時は、最初から取付け直してください。

9 最後に、取付け強度が十分か、「支柱」が前後・左右に傾いていないか確認し、竿かけをしっかりと丸ネジで固定し、ご使用ください。

〔完成図〕



〔ご使用に際してのお願い〕

- ■竿をかけて左右の竿かけの高さが同じかご確認してからご使用ください。高さが違うと片側へ竿がずれる恐れがあります。
- ■竿かけは竿の落下を防止するため、少々固めの設計にしてありますが、径が 2.5～3cmの一般用竿であれば差し込み、固定することができます。(図-1)のように、竿は竿かけの下までしっかりと押し込んでご使用ください。

〔ステンレス製品のご使用に際してのお願い〕

- ステンレスは鉄にくらべ、サビにくい金属でありますが使用条件や環境によってはサビを発生させることがあります。
- サビの原因は主に潮風に含まれている塩分、大気中に浮遊している鉄粉や有害ガスなどでこれらの異物が付着しもらいサビをおこします。いつまでも美しくご使用いただくために時々、パイプを目で確かめ、早めに異物をおふきとりください。
- 手入れの方法
  (日)軽い汚れは水ぶきをしてください。
  (月)とれにくい場合は中性洗剤か、ベンジンなどでふいた後、よく水ぶきをしてください。
  (火)点状のサビがみられる時は、中性洗剤や、めのこまかいキッチン用クレンザーなどを布につけて軽くこすりとった後、よく水ぶきをしてください。

品質表示
本　体……オールステンレスパイプ　　ゴム……天然ゴム
成型部品……ABS樹脂・ポリプロピレン樹脂　　ネジ・バネ類……鉄(メッキ)

お問い合せ先
製品は厳正な品質管理を行っておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが「お客さま相談室」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
積水樹脂株式会社「お客さま相談室」 フリーダイヤル 0120-808032
(土、日、祝日は休日ですのでお問い合せは平日 9:00～12:00・13:00～17:30 にお願い致します。)

積水樹脂株式会社
インターネット・ホームページ アドレスナンバー
http://www.sekisuijushi.co.jp/(製品情報 生活用品内)

MADE IN CHINA

〔ご注意〕
●製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。